



全校揃っての4年ぶりの大運動会！笑顔がいっぱい！！

コロナ禍で、全校児童が一斉に集まっての行事が行えなくなりましたが、今年度4年ぶりに『全校揃っての大運動会』を実施することができました。子ども達も保護者の皆さまも、そして私たち教職員も、この日を長らく願っていました。何も開催できなかった3年前、学団ごとに開催した昨年度と一昨年度、工夫しながら少しずつ運動会を実施しましたが、やはり何かが足りない、子ども達も大人達も感じていました。1年生から6年生まで全学年の競技や演技をお互いに見合ったり、応援し合ったりすることの大切さを今回実感しました。高学年は休む間もなく係として活躍してくれました。低学年の子ども達のお世話を率先してくれる高学年の子ども達もいました。

元気いっぱいの選手宣誓に始まり、紅白に分かれた全校児童による応援歌「Go! Go! Go!」は、晴天の青空に響き渡りました。団体競技は玉入れ（低学年）、大玉転がし（中学年）、台風の目（高学年）、そして紅白対抗リレーで最高に盛り上がりました。個人種目も徒競走とレク走を学年毎に行いました。4年生のレク走は「高田っ子SDGs」の取組からヒントを得て、ペットボトルのゴミを拾っていく競技でした。「SDGs」と言えば、低学年が踊った「ツバメ」という曲は、NHKの子供向けSDGs番組シリーズ『ひろがれいろとりどり』のテーマソングとなっています。かわいいツバメがたくさんいましたね。中学年は大きなかけ声と共に「ソーラン節」を力強く踊りました。自分の好きな漢字一文字を背中に書いた法被とハチマキ姿も凛々しかったですね。そして高学年は体操を取り入れた集団行動が素晴らしかったです。一つ一つの動きが身体を鍛える動きとなって、揃った動きは集団美となっていました。短い練習期間で良くここまで完成させました。

一生懸命な子ども達の姿の数々に、保護者の方も来賓の方も、先生方も心が動かされました。紅白に分かれての得点は・・・「紅組644点」「白組564点」で紅組の優勝でした。どちらもよく頑張りましたね。紅白リレーは低学年の部は白組、高学年の部は紅組がトロフィーを受け取りました。

また運動会が終わった後には、本当にたくさんの保護者の皆さまがイスや机、テントの片付け、トイレ掃除までご協力いただきました。心よりの感謝の言葉しかありません。今年度は予定時間をかなりオーバーし、ご迷惑をおかけしました。来年度は、時間配分も十分考慮し、保護者の皆さまからのアンケートや教職員からの反省を基に計画していきます。本当にありがとうございました！



交通安全～手を挙げて横断歩道を渡りましょう～は意味がある

登下校で、信号が変わったと同時に走って飛び出していく子がいます。大変危険です。車は小さい子どもの姿が見えにく

い場合があります。しっかり手を挙げて「ここにいるよ！気づいて！」と渡る意思を示すことが大切です。